□ 正・	教材·支援機器活用実践事例		
□ 正・		実施年度	平成27年度
接案における	授業につ	教科名等	自立活動
教師のねらい	いて	単元・題材名	「舌の真ん中の力をぬいて言おう」
でましい構音方法の理解と発音の改善 授業における 子どもの目標 ・サ行音、夕行音、ナ行音、ザ行音 子どもの目標 ・サ行音、夕行音、ナ行音、ザ行音 対象の確がい 授業形態 構育障がい(口蓋化構音) 授業形態 一中学年 対なの確がい は生活上 育的ニーズ 本人は舌の真ん中が膨らんで言いにくい音があることに気づいているが、身近な人や大変達、先生とよく話している。緊張する場面では無表情で話す。幼児期から発音指導を受けており、早く終了したいと思っている。 教材・支 援機器活活 服・教材の名称 画像! ① 口蓋模型 ③口の体操の双穴や図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		授業における	○構音器官(口・舌・あご)の運動機能の向上
授業における 子どもの目標 ・サ行音、夕行音、ナ行音、ザ行音 子どもに ついて 対象の障がい 授業形態 画級による指導(ことばの教室) 小学生 中学年 対象の障がい 授業形態 個別学習 本人は舌の真ん中が膨らんで言いにくい音があることに気づいているが、身近な人や友達、先生とよく話している。緊張する場面では無表情で話す。幼児期から発音指導を受けており、早く終了したいと思っている。 数材・支 機用した支援機 接機器活 器・数材の名称 (画像) ① 口蓋模型 ③口の体操の双穴や図 ②口蓋化構音の図 ④発音練習マニュアル ・		教師のねらい	○語音を聞き分ける力(自分の発音の正誤弁別)の向上
子どもの目標 ・サ行音、夕行音、ナ行音、ザ行音 子どもについて対象の障がい 授業形態 画級による指導(ことばの教室) 小学生 中学年 機管障がい(口蓋化構音) 授業形態 個別学習 本人は舌の真ん中が膨らんで言いにくい音があることに気づいているが、身近な人や友達、先生とよく話している。緊張する場面では無表情で話す。幼児期から発音指導を受けており、早く終了したいと思っている。 (画像) 銀・教材の名称 (画像) ① 口蓋模型 (金) 日本の双穴や図 (金) 日本の理学の双穴や図 (金) 日本の内では、対象では、対象をは、大きなもとではかなる。 (金) 日本ののでは、対象をは、大きなもとではかない。 (金) 日本ののでは、対象をは、大きなもとではかない。 (金) 日本ののでは、対象をは、大きなもとではかない。 (金) 日本のでは、対象をは、大きなもとではない。 (金) 日本のでは、対象をはできないを表現して、対象をはできないを表現して、対象をはないを表現して、対象を表現して、対象をはできないを表現して、対象をはできないを表現して、対象をはないを表現して、対象をはないを表現して、対象をはないを表現して、対象をはないを表現して、対象をはないを表現して、対象をはないとないできる。 (金) 日本ののでは、対象をはないとないと思っている。 (金) 日本ののでは、対象をはないとないと思っている。 (金) 日本のでは、対象をはないとないと思っている。 (金) 日本のではないとないに対象をはないないと思っている。 (金) 日本のではないとないにないと思っている。 (金) 日本のではないとないにないとないにないと思っている。 (金) 日本のではないとないにないにないにないとないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにないないとないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにないにな			○正しい構音方法の理解と発音の改善
子どもに		授業における	○正しい構音の方法を習得し、正しい発音で会話ができる。
対象の障がい 横音障がい (口蓋化構音) 接来形態 個別学習		子どもの目標	・サ行音、タ行音、ナ行音、ザ行音
授業形態 個別学習	子どもに	学級・学校・学年	通級による指導(ことばの教室) 小学生 中学年
学習上又 子どもの特性や教 本人は舌の真ん中が膨らんで言いにくい音があることに気づいているが、身近な人や友達、先生とよく話している。緊張する場面では無表情で話す。 幼児期から発音指導を受けており、早く終了したいと思っている。 教材・支 使用した支援機 器・教材の名称 ① □蓋模型 ②□蓋化構音の図 ②□蓋化構音の図 ②□蓋化構音の図 ②□蓋の基本に関する。	ついて	対象の障がい	構音障がい (口蓋化構音)
存的ニーズ 身近な人や友達、先生とよく話している。緊張する場面では無表情で話す。 幼児期から発音指導を受けており、早く終了したいと思っている。 数材・支 接機器活 一直蓋模型 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ②口蓋化構音の図 ③配表をおかりかと 流れぬはで ずのまれた ①のの体操の ②口蓋の場合をおかりかと 流れぬはで ずのまれた ③のの体操の ②口蓋の ②口蓋の ②口蓋の ②口蓋の ②口蓋の ②口蓋の ③のの ②口 ②口 ②口 ②口 ②口 ②口 ②口		授業形態	個別学習
	学習上又	子どもの特性や教	本人は舌の真ん中が膨らんで言いにくい音があることに気づいているが,
### (画像)	は生活上	育的ニーズ	身近な人や友達,先生とよく話している。緊張する場面では無表情で話す。
(また) (また)	の困難さ		幼児期から発音指導を受けており、早く終了したいと思っている。
###	教材・支	使用した支援機	【画像】
○終了までの見通しをもって発音練習に取り組むことができる。④ ○自分の発音の状態を映像で振り返ったり、表情を確認したりできる。⑤	接機器活用	① □蓋模型 ②□蓋化構音の図 ②□蓋化構音の図 ②□蓋の構造の図 ②□温の表 ②□温の表 ③ □ 温の表 ④ □ 温の表 ⑤ □ 温の表 ④ □ 温の表 ⑤ □ □ 温の表 ⑤ □ 温の表 ⑥ □ □ 温の表 ⑥ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	4 発音練習マニュアル ***********************************
○自分の発音の状態を映像で振り返ったり、表情を確認したりできる。⑤		活用のねらい	
授業における支援 ┃〇舌の脱力が発音改善のポイントなので毎時間口の体操を行うようにした。		<u> </u> 	○舌の脱力が発音改善のポイントなので毎時間口の体操を行うようにした。

何度も楽しんで取り組めるようにお菓子や遊びの要素を取り入れた。③

発音改善の近道だった。年度末終了が認められ、笑顔で巣立った。

本児用の発音練習マニュアルを見て、見通しをもって意欲的に練習に取り

組み,スムーズに改善した。舌出し工での舌の脱力,脱力した舌出しでのスの息だし,舌出しでのスの単音からの練習を丁寧に繰り返すことが王道で,

・ 教材の配慮事項

子どもの変容や評価